



開催方法・開催期間など、リニューアルした「第52回桑野地区市民文化祭」

「文化祭実行委員会反省協議会」で文化祭の振り返りを行い、実行委員から出された意見など、以下にまとめましたのでお知らせします。

意 見・感 想	改善策
<p>①会場設営・作品展示(前日準備)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初の会場変更だったが、説明に従ってよくできた。 ・作品の展示方法が変わり、作品フォルダーにセットできるようになり、大事な作品が保護されるのはもちろん、作業も効率化できてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品割り振り図にパネルや長机などの寸法を入れるとイメージがしやすい。 ・実行委員メンバーが変わっても誰でも理解できるように、写真やイラストを多用するとよい。
<p>②総合開会式、芸能発表会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい開催方法で工夫がみられたが、見に来る方が限られていた。 ・文化祭の期間が間延びせず、とてもよかった。 ・児童生徒の作品を見に来た保護者が芸能発表会を見ていたので、作品展との同時開催はよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい地域の人にも足をもっと運んでもらいたい。例えば、小中学生で学校外の活動(ダンスやピアノ等)を披露する場としてもよいのでは。また、中高生や大学生の演奏依頼をすることも考えていく。
<p>③作品展について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館全体を使う展示で配置も良かったと思う。 ・作品数が少なくなってきた感がある。 ・1階と2階に展示が分かれたので、全部見てもらえたか気になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会場の作り方の工夫。 ・作品の説明を加えて、その深みを紹介できれば感動が伝わったと思った。
<p>④作品搬出・会場撤去について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬入時と同様で全体がスムーズに行動できてよかった。 ・保育所、小中学生の作品を破損する等の心配もなく、スムーズにできた。(作品ホルダーを新規購入し、使用した) 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰がやっても同じことができるよう写真などを取り入れたマニュアルがあればよい。
<p>⑤その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来賓や実行委員のカレー昼食を婦人会が調理。婦人会メンバーも高齢となり、継続が難しい状況になってきている。 ・体験コーナーや喫茶コーナーなどにより、前回よりは人の動きがあったように思った。 ・館庭が少しさみしかった。 ・全体的にもう少し来場者がいればよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カレーを弁当にして配付することは必要数が流動的(食品ロスに繋がる)だし、予算面からむずかしい。 ・実行委員(婦人会も含めた)が、調理を担当するようにするのもよいのでは。 ・若い世代に参加してもらえれば、内容もグッと変わって今の時代に向けて進んでいけると思う。 ・移動販売やゲーム等を行う。
<p>⑥青少協主催「少年少女の主張大会」と同時開催することについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同時開催のメリットは大きいと思う。総合開会式直後は来賓や関係者も多く、主張の内容が広く伝わりやすい。発表する小中学生にとってもやりがいがある。 ・文化祭の中に入れば、一般の聴衆も増えるのではないかな。 ・子どもの意見を地域に知らせるよい機会である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭期間に「少年少女の主張大会」を組み込む場合のタイムスケジュールや、会場の配置等、今後事務局で案を練り、話し合う場を設ける。

ゆめぎんこう 著者：コンドウ アキ



「いらっしやいませ、ゆめぎんこうです。おきやくさまは、どんなゆめをごきぼうですか？」



ゆめぎんこうは、おきやくさまのゆめを買って、ゆめのアメに変え、それを売っているところです。最初、「ゆめ」を「かなえたい夢」だと思っていたのですが、このお話しの「ゆめ」は「寝ているときにみる夢」です。

ゆめぎんこうの店主『ぺんぺん』と、ゆめを食べる『もぐもぐ』がおきやくさまのゆめを買いにお家に行くのです。

私は寝ているときにみた夢をよく忘れてしまうので、アメに変えてもらえたら素敵だなと思いました。

この絵本では、ひとりの老人からゆめを買ってほしいとおねがいされます。そして、お家へ行き、いざゆめをたべようとすると…

お話しの最後には思わず涙がこぼれそうになる感動がまっています！

ぜひ、みつけたらよんでみてください。

地域未来塾・くわのっ子スクール

気分はパティシエ！ 恵方巻スイーツづくり

講師：安藤 元美さん



今年の節分は2月2日でしたが、1日早い恵方巻スイーツとして、フルーツロールと豆にスイートチョコをつけるチョコ豆を作りました。

フルーツロールは、スポンジにクリームを塗り、フルーツを散らして巻いてでき上りです。ロールを巻くのに少し戸惑っている子が多数いましたが、みんな上手に巻けていました。

チョコ豆は、豆にチョコをかけ、何回もコロコロと乾くまで転がしていく作業を3～4回して、ココアを振りかけ仕上げました。

最初はみんな静かでどうなることやらと思っていましたが、最後にはワイワイと楽しく作業を終えていました。自分なりの恵方巻ロールができて、満足した様子でした。



『4コマ漫画 コーナー』

